

心の健康講演会



内 容

講演『生きる力をつける処方箋』

講 師

立教大学現代心理学部
映像身体学科教授
精神科医 香山 リカ 氏

期 日 3月25日(日)
時 間 午後1時30分～3時
(開場 午後1時)
場 所 皆野町文化会館ホール
定 員 600人(当日先着順)
入場料 無料

講師紹介 北海道札幌市生まれ。東京医科大学卒業。学生時代より雑誌などに寄稿。その後も臨床経験を生かして社会批評、文化批評、書評を手掛け、現代人の“心の病”について洞察を続けている。平成20年4月、立教大学教授に就任。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサブカルチャーにも関心をもち、新聞・雑誌の連載やテレビ出演など幅広く活躍中。著書に「しがみつかない死に方－孤独死時代を生きるヒント」「母親はなぜ生きづらいか」「上手に傷つくためのレッスン」など多数あり。

問合せ 健康福祉課健康づくり担当

☎62-1233



消防団って？

消防団は、市町村が設置する機関で、消防本部、消防署と協力して消防活動を行います。

団員の身分は特別職の地方公務員とされ、報酬が支給されます。また、活動中のケガなどに対する補償があり、5年以上勤務した団員には退職金も支給されます。

問合せ 総務課企画政策防災担当 ☎62-1231

消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の安全を守るために活動している人の集まりです。火災などの災害時には消防署と一体となって、迅速に消火・救出活動を行い、災害から街と住民を守るという重要な役割を担っています。近年各地で多発した大規模災

害では、多くの死傷者や行方不明者がいる中、さまざまな場面で消防団員が活躍し、安全と秩序を守る地域社会の担い手として、その役割はますます高まっています。一方、全国的に団員の高齢化など、その数は年々減少し、団員の確保対策が大きな課題となっているのが現状です。消防団は、災害から住民の生命と財産を守るという非常に重要な組織です。皆さんの消防団への入団をお待ちしています。

消防団員になつて地域のために活動しよう！

季 春 全国火災予防運動

3つの習慣・4つの対策を心がけましょう。

『消したはず

決めつけないで

もう一度』

3つの習慣

●ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用しましょう。

●寝たばこは、絶対にやめましょう。
●ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。

4つの対策

●にげ遅れを防ぐために、住宅用の火災報知器を設置しましょう。

●寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用しましょう。
●火災を小さくうちに消すために、消防器などを設置しましょう。
●お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう。